

## 科目概要

科目名	「地域企業(自治体)お題解決プログラム」(後学期)
授業内容 と方法	<p>日本では人口減少や高齢化が加速し、地域社会は「未曾有の変化」を迎えています。企業や自治体もこうした課題に対応しながら存続・生き残りを図る必要があります、地域との結びつきがますます重要になります。その中で求められるのは、変化を捉えて課題を見つけ、多様な人材を巻き込みながら解決へ行動する力です。</p> <p>本科目では、県内市町村・団体・企業の実際の課題をテーマに選び、グループで調査・活動します。これにより、社会人基礎力やキャリア観を育て、次世代リーダーとしての課題発見力・解決力を養います。</p> <p>授業は、自治体・企業・学校・コーディネーターの指導の下、座学で知識を得た後、フィールドワークで実践し、最終的に課題解決の提案を行います。</p> <p>なお、シンクタンク経験豊富な教員が担当し、学生と社会人が協働するディスカッション・グループワーク中心のアクティブラーニングを進めます。</p>
授業計画	<p>□毎週木曜日第6時限に開講する Zoom を用いたオンライン授業を基本に、フィールドワーク（日曜日開催）を加えたハイブリッド型授業です。</p> <p>□授業のコミュニケーションツールとして「Slack」を用います。</p> <p>木曜日第6時限【18:00～19:30】</p> <p>第1回 オリエンテーション（シラバスの解説、遠隔授業ツールの解説）、受講生のアイスブレイク</p> <p>第2回 自治体・団体等による講演①・②、それらのテーマの深堀り</p> <p>第3回 自治体・団体等による講演③・④、それらのテーマの深堀り</p> <p>第4回 自治体・団体等による講演⑤・⑥、それらのテーマの深堀り</p> <p>第5回 チーム編成、フィールドワークの準備</p> <p>第6回 フィールドワーク（地域における実践活動）①【日曜日午前の部】</p> <p>第7回 フィールドワーク（地域における実践活動）②【日曜日午後の部】</p> <p>第8回 収集した情報の整理（原因分析の講義、オンラインホワイトボードで整理方）</p> <p>第9回 地域課題の抽出①（原因分析の講義、ホワイトボードで整理）</p> <p>第10回 地域課題の抽出②（問題点、課題を整理して図示化の講義）</p> <p>第11回 課題解決に向けた方向性の検討①（発表の基本構成、5W1Hの講義）</p> <p>第12回 課題解決に向けた方向性の検討②（ステークホルダーの講義）</p> <p>第13回 プレゼンテーション資料の作成</p> <p>第14回 中間報告（各チームの発表、各チームへ質問、提案など） ※自主活動（企画内容のブラッシュアップ・プレゼンテーションの資料等の準備）</p> <p>第15回 最終発表会の開催・講評</p> <p>※1課題当り4～5名のチーム編成を想定しています。 ※チームが取り組むテーマによっては、指定日時以外にも活動に取り組む可能性があります。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究共創機構が取り組む社会人向け科目履修プログラムとして、自治体、NPO 法人や企業等の社会人に本プログラムを提供します。</li> <li>・また、本学と沖縄県教育委員会との協定に基づく高大連携事業（高校生を対象とした公開授業）として高校生にも授業を公開します。</li> <li>・本科目は「初級地域公共政策士」資格取得のための履修証明プログラムの対象科目（選択必修）です。</li> </ul>